

## アルファベット入りナンバープレート

J J 1 S X A / 池

こんなナンバープレート（左）には、まだお目にかかっています、皆さんは如何ですか？、2018年に制度が変更され、こんなナンバーが交付されているようだが、まだまだ少ないということか？在日米軍関係者車両の平仮名部分に「Y」等が使われているものとは別物だ。



車のナンバーは、「地域名」、「排気量や大きさなどで決まる3桁の分類番号」、「ひらがな」、「4桁の数字」で構成されるが、この中で、「排気量や大きさなどで決まる分類番号」は、以下のようにになっている。

分類番号の最初の1桁目は、1～9 および 0 が割り当てられていて、一般的に使われるのが以下の番号です。

- 「1」普通貨物車（普通自動車のうち、貨物用途のもの。例えばトラックなど。）
- 「2」普通乗合車（普通自動車のうち、乗車定員が11名以上のもの。たとえばバスなど。）
- 「3」普通乗用車（普通自動車のうち、乗車定員が10名以下のもの。）
- 「4」小型貨物車（小型自動車のうち、貨物用途のもの。）
- 「5」小型乗用車（小型自動車のうち、乗車定員が10名以下のもの。）
- 「6」小型貨物車（もともとは三輪貨物車用の番号。）
- 「7」小型乗用車（もともとは三輪乗用車用の番号。）
- 「8」特殊用途自動車
- 「9」大型特殊自動車
- 「0」建設機械

そして、この分類番号は上記番号を先頭にして3ケタ化されているが、この下2桁に、新たに英字（アルファベット）が一部の地域で割り振られるようになったのです、なぜこんな制度が必要になったのかといえば、1999年に始まった希望番号制度の普及により、いくつかの数字に人気が集中したからだ、そこでアルファベット26文字の中から視認性が高い、「A」「C」「F」「H」「K」「L」「M」「P」「X」「Y」の10文字を選択、分類番号の下2桁に導入できるように制度を変更したのだ。

2018年1月から、練馬、横浜に続き、名古屋ナンバーが交付されたようだ。

「ひらがな」については、「自家用車」は、「さすせそたちてとなにぬねのはひふほまみむめもやゆらりるろ」、「事業用車」は、「あいうえかきくけを」、「レンタカー」は、「われ」、「駐留軍人用車両等」は、「よ EHKMTY」となっている。